

新年会ご挨拶

皆さん、新年明けましておめでとうございます。本日は、JARL 渡島檜山支部新年会にこのように多数の参加者を迎えることができ、たいへんうれしく思っております。今回は、最近開局された方、またこれから開局を目指す方の参加もあり、新旧のアマチュア局が入り混じって、アマチュア無線の楽しみを語り合い、懇談を深めていただきたいと思います。

今日は、楽しい時間を過ごしていきますが、一つ振り返ってほしいことがあります。31年前のこの日の朝、阪神淡路大震災が起こり、6500名近くの方が命を落としました。戦後最大の災害であり、情報も錯綜した中で、アマチュア無線を使った非常通信も行われ、避難者の生活の秩序を保つことに貢献することができました。以降、アマチュア無線の非常時の役割が注目されるようになり、アマチュア無線の社会貢献についても、関係当局からも積極的な利用を期待されるようになりました。是非このことも心に刻んでおいていただければと思います。

さて、年末、年始のロールコールでは、これまで以上の参加者を迎えることができました。過日 11 日の薦屋イベントも 19 名がスタッフとして協力下さり、アマチュア無線の楽しさを市民に PR することができました。体験運用をされた方の中には、「是非、アマチュア無線をやってみたい。」と免許取得の気持ちを伝えてくださった方もいました。そして、本日、北海道新幹線開業 10 周年特別局が開局し、先ほど開局式を終えました。3月 31 日までの 2 か月半となります。ご承知の通り北海道新幹線は、新青森から新函館北斗までの区間であり、青森県も含むことから、青森県支部の岡田支部長とも連携を取りながら、渡島檜山と青森県で運用することになりました。それにあわせて、北海道と青森の 2 つの運用地で交信すると C 賞、さらに駅がある青森市、今別町、木古内町、北斗市のアマチュア局と交信するとその駅に合わせて、B 賞、A 賞などをもらえるアワードもスタートさせます。

支部会員には、特別局の運用、この機会をとらえながらアクティブな運用をよろしくお願ひします。

最後に、お願ひがあります。この局を運用するには、QSL を始め、諸費用がかかります。特別局においては、支部費よりの予算捻出は認められておらず、どうしても皆さんからのご厚意をお願いするしかありません。目標額は 6 万円です。

つきましては、一口 1000 円のご寄付をいただければと思います。この場でも構いませんし、後日でも構いません。お気持ちを示していただける方は、支部役員に声をかけていただければ幸いです。

最後はお願いになってしましましたが、短い時間ですが、ビデオやクイズなど支部役員で工夫しながら、準備いたしました。最後までお楽しみいただきますよう、ご案内し、ご挨拶とさせていただきます。

令和 8 年 1 月 17 日
JARL 渡島檜山支部長 佐々木 朗